

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成25年度第1回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成25年6月10日(月) 午後2時から午後4時まで  
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
III. 参加者：木村委員長、廣野副委員長、久保田副委員長、遠藤委員、志田委員、深谷委員、青山委員、大竹委員、毛利委員、齋藤委員、吉田浩委員、柿本委員、川崎委員  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本(記)

IV. 検討事項

1. 委員の紹介

- ・ 今年度から6名が新たに委員になり、各自自己紹介を行った。

2. 今年度の計画

- ・ 今年度の事業計画は、私立大学における職員の職務能力の開発・強化を支援するため、主体的な学びを促す教育環境の工夫等、情報通信技術を活用した大学改革の基盤づくりについて認識を深める。例えば、教学マネジメントを支える教育・学修環境の整備、情報環境の持続可能化・高機能化・負担軽減化と情報セキュリティの確保等の他、学校法人会計制度の変更に伴う情報システムの移行問題等について、基礎と応用のコースにより研究講習を実施することになっている。
- ・ 大学教育の質的向上を図るためICTをツールとして利用する。情報を空気と水のように使って次の世代の人材育成に寄与できるためのものにしたい。ムークの例で、大学の意識変革など大学の知を集めてイノベーションの必要がある。

3. 基礎講習コースの検討

- ・ 大学改革、質的転換の必要性。
- ・ 全体会では話題提供として、情報提供とする。取り組みへの考え方の導入・確認、背景をふくめて今後の対応など。情報提供2で事例は2件とする。

4. 応用コースの検討

- ・ 今後の計画について、長期間での検討を考えることにした。
- ・ 日帰りは大学としては出しやすいのではないか。大学の費用としてはどうか。地震など人命尊重で宿泊をなくす検討も必要ではないか。
- ・ 学生支援、質的転換、情報システムで40名が3班で120名の設定でどうか。
- ・ 場所は仮予約で早稲田11/15で、他大学の可能性も検討する。

5. 基礎講習の個別検討(基礎講習担当委員で打ち合わせ)

- ・ 基礎講習の担当委員で当日の流れ、運営について確認を行った。
- ・ 全体会では参加者は円卓で討議できる形にして、オリエンテーション、情報提供、全体討議を1日目に行い、運営として深堀、誘導を促す。
- ・ イノベーション、改善策の構想づくり、大学力を充実することが成長戦略になる。情報提供では、情報を自らつかみ取って道具とすること、情報とどう向き合っているか説明する。
- ・ 討議のテーマは決めないことにして、考える視点、考察する視点、委員側でテーマの元を持っておく準備をすることにした。見える化シートなど段取り表を準備することにした。
- ・ 当日は少し早目に集合して、運営の確認をすることにした。

V. 今後の対応

- ・ 7/17 基礎講習コースの開催。次回委員会はメールで調整し、応用コースの検討を行う。